



みよし剛史



塩沢みつえ

発行：日本共産党
福山市議会議員団
津之郷町津之郷 970-1
084-952-2662

ネウボラセンター整備案明らかに

誰もが相談できる拠点を

8月に天満屋に開設されるネウボラセンターの概要が、5月29日の民生福祉委員会でも報告されました。

8階には子育て・若者相談、親子の遊び場、スマホでの子育て・保育関連の手続き支援などの機能が設けられ、7階部分は2026年4月開設を目指し、今後、具体化が進められます。

ネウボラセンターの設置は、妊娠期から30代の若者まで、若年層の様々な相談に対応するワンストップ窓口を設け、支援を充実させることが大きな目的です。

貧困やヤングケアラーなどの問題による社会的孤立の防止が求められており、相談しやすい環境への配慮が欠かせません。

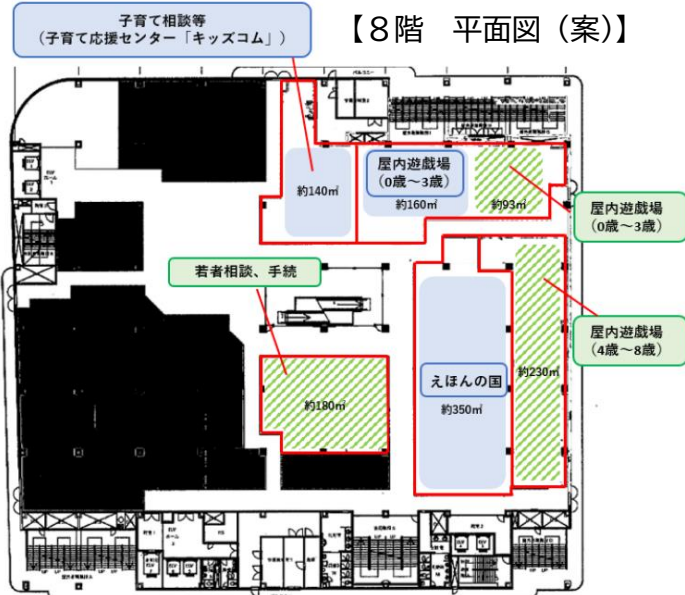
困難さの支援に 安心の相談窓口を

しかし、現在の設置案では、遊び場や既存の店舗が相談コーナーに隣接していることから、塩沢議員は、「深刻な悩みを相談する場所としては利用しにくいのではないか」と指摘しました。

市は「個室

を設けたり、入り口を分けたりするなどして、行きにくさを感じさせないようにしっかりと工夫をしていきたい」と応じました。

【8階 平面図(案)】



児童館の設置で 地域に交流の場を

また、併設される屋内遊戯場は9歳以上の児童は利用できません。

子育て中の親同士が交流できる場所へのニーズが高かったことから整備されるものですが、年齢制限を設けることで利用機会が狭められかねません。

塩沢議員は、親子で制限なく自由に利用できる児童館の整備が必要であることをあらためて訴えました。

放課後児童クラブ利用児童増加 教室新設で環境改善を

児童250人増も 教室数は変わらず

市内の放課後児童クラブの在籍児童数は昨年から250人増加し、6850人

でした。2015年に対象を6年生まで拡大して以来、高学年の児童数も増加しています。しかし、全体の教室数は昨年同様、15

0教室で運営されている状況が明らかになりました。

放課後児童クラブの在籍人数は2020年との比較では658人も増えていますが、教室数は3教室減少しました。

1教室あたりの平均在籍数は、2020年は40・5人でしたが、今年は45・7人であり、詰め込みが進んでいることが懸念されます。

塩沢議員は、「1教室の定員はおおむね40人以下と定められており、新規の開設が必要なのではないか？」と質しました。

児童クラブ担当課は、「超えている教室もあるが、日常的な参加は6・7割程度。」としつつも、「充分でない」とは認識しているため、学校と連携し、ランチルームや他施設の活用を考えている。

と応じましたが、教室の新設の考えについては言及しませんでした。

「概ね40人以下」 クラスの実態は？

1教室が50人を超えるクラブは20年時点では11クラブであったものが、この5年で23クラブにまで増加しています。

安心して生活できる適正規模を超過している状況や、児童の増加で指導員の多忙化を招いている可能性があります。速やかに教室を増設し、環境改善に取り組むべきです。

民間委託7クラブ 次年度19クラブに

今年度は市内7クラブの運営を民間に委託していますが、次年度新たに12クラブを委託する考えです。

委託後も市が定期的に状況把握し、公設公営と変わらないと説明しますが、指導員の処遇などは関与できません。委託ではなく指導員の雇用条件の改善を市の責任で行うべきです。